

# 2018年度 第4回 3月

## 高校レベル記述模試

日本史・採点基準

記述・記号部分

### ◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。  
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 世界文化遺産（2点×10=20点）
- 2 原始・古代の日中関係（2点×8=16点）
- 3 中世の総合問題（2点×10=20点）
- 4 キリスト教と近世史（2点×8=16点）
- 5 近現代の条約（2点×10=20点）

\*注意事項・許容解など  
特になし。

# 論述部分

## ◆添削記号◆

高校レベル記述模試・日本史の論述採点では、次のような添削記号を用いています。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1. <□□□□>             | 加点要素        |
| 2. <u>□□□□</u> (波線)   | 表現に難あり      |
| 3. □□ <sup>∨</sup> □□ | 文要素の欠落/脱字   |
| 4. □□ <sup>×</sup> □□ | 誤字 (略字を含む)  |
| 5. □□□□ <sub>x</sub>  | 内容に誤りあり     |
| 6. 「□□□□」             | 設問要求に答えていない |

## ◆共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を1点のものは下線□□で示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する(◎で示した事項、( )内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある)。
- 歴史用語(赤字で表示)についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、1点減点。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて1点減点とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
- 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

## ◆採点の具体例◆

<□□□□□□□□□□□□□□□□□><sup>◎</sup> □□□ 「□□□□□□□□□□□□□□□□」 □  
□□□<sup>∨</sup> □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□<sub>x</sub> □□□□<sup>x</sup> □□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ <□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□><sup>◎</sup> □□□□

Ex. 加点要素の合計が配点をオーバーした場合 6→**⑤**

2 原始・古代の日中関係（論述部分）

問6 唐との関係

◆加要素の合計4点→4点満点◆

◎倭

- a 百済の復興をはかった …………… 1点以内
- b 新羅と交戦した …………… 1点以内
- c (唐と) 白村江の戦いで交戦した …………… 2点以内

4 キリスト教と近世史（論述部分）

問8 「鎖国」

◆加要素の合計16点→4点満点◆

◎対外的な窓口

- a 長崎(口) / 対馬(口) [対馬藩] / 薩摩(口) [薩摩藩] / 松前(口) [松前藩] …………… 2点以内  
※「(対馬の) 宗氏」「(薩摩の) 島津氏」「(松前の) 松前氏」は1点

◎「鎖国」ではなかった根拠

- b (長崎のみで) オランダ [中国 / 明 / 清] と貿易を行った /  
(対馬のみを通じて) 朝鮮と交流した /  
薩摩のみを通じて) 琉球と交流した /  
松前のみを通じて) アイヌと交流した …………… 2点以内